

【必修領域】 試験一括型

主な受講対象者		全教諭対象	履修対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭
開設講習名	【必修】教育の最新事情（D）			
開設日	令和3年（2021年）11月6日（土）			
履修認定試験<試験一括型> （4限終了後に試験を実施します。）			試験時に配付資料・ノートの参照：可 （タブレット端末の参照は不可）	
担当者からの連絡事項等		当日、資料を配付します。		
1限 (9:00~10:15)	科目名	国の教育政策や世界の教育の動向	担当者	野田 秀一 (大分市教育委員会教育部学校教育課長)
	1. 国の答申や教育法規等の改正をふまえ、現代教育改革の動向を理解する 社会の変化に伴い、公教育制度の基本的流れが変化してきている。このような中で近年の教育改革は どのような方向に向かっているのかを理解する。 2. 学校教育の基調の転換と学校改革の動向を理解する 公教育目標の基調の転換が、学校組織や学校の教育活動や学校経営のあり方にどのような影響を与え、 その結果どのように変化してきているのか等を答申や教育法規等の改正をふまえ理解する。 3. 世界の教育の動向を理解する 諸外国が自国の課題に対し、教育政策によりどのように対応しようとしているのかを、我が国との比較を通し て、理解する。			
2限 (10:30~11:45)	科目名	教員としての子ども観、教育観等について の省察	担当者	野田 秀一 (大分市教育委員会教育部学校教育課長)
	1. 時代の変化の中で、「教師」、「学校」に向けられる眼差しがどのように変化しているかを理解する。 (1) 学校現場・教師を取り巻く社会的状況、その変化を理解する。 (2) 中央教育審議会答申等から、今後求められる教員の資質・力量について考察する。 (3) 保護者や地域住民、子どもが求める「教師像」について考察する。 2. 自身の持つ教職に対する価値観や指導観を見直す。 (1) 生徒指導事案をもとに児童生徒の発達の段階から指導観を考察する。 3. 各自の教育実践の前提となる子ども観や教育観等について問い直す。			
3限 (12:45~14:00)	科目名	子どもの発達に関する脳科学、心理学 等における最新の知見 (特別支援教育に関するものを含む)	担当者	衛藤 裕司 (教育学部教授)
	1. 自閉症スペクトラム障害 (ASD) について知る。 ①医学的診断・教育的判断の現在、②心理学的理解 2. 自閉症スペクトラム障害の教育的対応 (ASD) について知る。 ①教育課程、②学習上の特性、③指導方法・技術、④二次障害 3. 自閉症スペクトラム障害 (ASD) のある子どもの人生			
4限 (14:15~15:30)	科目名	子どもの生活の変化を踏まえた課題	担当者	内田 昭利 (教育学研究科教授)
	1. 日本の若者の自分に対する意識 「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」(令和元年6月 内閣府)の結果から、自己認識に焦点を当 てて、現在の若者像を理解する。 2. 子どもの自己肯定感について 諸外国との比較から、日本の子どもたちの自己肯定感について理解する。また、自己肯定感の高低とその 背景について考察する。 3. 「自己肯定感」と「自己有用感」 自己肯定感と自己有用感の違いについて理解する。その上で、どのように子どもに関わっていけばよいの かを考える。			
(15:45~16:45)	履修認定試験			